



(様式2)

令和4年10月24日

京丹後市議会議長 様

会 派 名 無会派
代表者氏名 鳴海公軌

調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程
2022年10月17日(月)～18日(火)
- 2 場所
日本青年館ホテル8F カンファレンスルーム
- 3 目的
住民主体の地方自治を進めるために第27回清溪セミナーに参加する
- 4 該当する政務活動費の使途項目
2 研修費
- 5 支出経費の内訳と金額
29,000円
- 6 参加議員名
鳴海公軌
- 7 活動成果の概要、所見
講師の講座を通して、多角的な視点から地方創生について学ぶことができた。
以下、印象的だった点を所見として記載する。

石破茂氏

「地方創生が失敗すると国が潰れるという危機感を持っている。真実を勇気と真

心を持って語るのが、政治だ」

大南信也氏

「関係人口はつくるものではなく、できていくもの。役に立ちかはわからないけど、面白そうなことをやってきたら、結果的に多様な人が関わり、まちが興った」

木下斉氏

「100人が合意するということは、誰も本気にならないということ。議員は必ずしも全ての批判の代弁者であるべきではない。さまざまな批判を聴き、その上で判断する力を期待されている」

清原慶子氏

「やる気ない職員は本質的にはいないはず。ただ、キャリアのなかで有用感を失っていくことがある。客観的な評価だけでなく、本人のキャリアデザインも大事にする。」

小室淑恵氏

「寝ないことによって集中力に欠け、暴力的になることが示されている。また、老後の認知症リスクも高める。職員を休ませることは、市のため市民のため。」

能條桃子氏

「日本人が九九をできるくらいの感覚でデンマーク人は自分達の政治を知っている。政治家ってそこらへんにいるじゃんって感覚。日本でも社会は私たちが作ってるということを若者たちと共有したい。」

8 成果物、資料等

https://drive.google.com/drive/folders/1rY98jtsWf_icBfRk8qHXvUVJKWu_z6NS

